

嵐電の 桜 を観る

嵐電“桜のトンネル”桜の植樹と桜電車の運行について

嵐電（京福電気鉄道株 本社：京都市中京区）の北野線「鳴滝」駅から「宇多野」駅間約 200 メートルには、線路の両脇に約 70 本の桜が咲き乱れる“桜のトンネル”区間があります。この桜の木は、大正 15 年、北野線の全線開通を記念し八瀬（京都市左京区）から移植したものです。

以来、沿線や乗客の皆さまに親しまれています。平成 11 年から開催しています「“桜のトンネル”ライトアップ」では、近隣の皆様から温かいご理解、花見客の案内誘導などのご協力、平成 13 年には、右京区「区民の誇りの木」の認定をいただきました。

今春、さらに美しい桜並木を目指し、“桜のトンネル”区間に新たにソメイヨシノ 30 本を植樹しました。これまで咲き続けている 70 本の桜と合わせて地域の大切な観光資源として守って参ります。

また、春の訪れに合わせ、車体は桜をイメージしたラッピングとヘッドマークを付け、車内は桜の装飾をした“桜電車”（1 両）を運行します。

ぜひ、嵐電沿線で日本の春を象徴する桜をお楽しみください。

記

桜電車の運行

- 期 間 3月4日(火)～4月20日(日) 予定
※点検・整備のため運行を行わない日もあります
- 概 要 外観：桜をイメージしたラッピングと
ヘッドマーク
車内：桜の装飾と嵐電沿線桜の名所を
ご紹介したポスターの掲出



桜の植樹式

右京区長、宇多野自治会連合会会長による植樹を行います

- 日 時 3月4日(火) 10時45分頃
場 所 北野線“桜のトンネル”区間 鳴滝駅寄り（右京区宇多野法安寺町）

以上